

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 9月15日

名古屋地方裁判所民事第2部

裁判所書記官 神宮司 智 仁

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 9月30日から 令和 8年10月 7日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年10月14日 午前 9時30分 場 所 名古屋地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年10月28日 午前 9時50分 場 所 名古屋地方裁判所民事第2部
特別売却 実施期間	令和 8年10月21日 午前 9時00分から 令和 8年10月21日 午後 4時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 9月15日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和8年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	7,040,000 5,632,000	一括	1,408,000	51,927	14,540
1	3,250,000				
2	110,000				
3	3,680,000				
	</				



物 件 目 録

- | | | | |
|---|-------|------------------------|--------------|
| 1 | 所 在 | 小牧市大字本庄字郷浦 | |
| | 地 番 | 2613 番 200 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 233.82 平方メートル | |
| 2 | 所 在 | 小牧市大字本庄字郷浦 | |
| | 地 番 | 2613 番 474 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 7.85 平方メートル | |
| 3 | 所 在 | 小牧市大字本庄字郷浦 2613 番地 200 | |
| | 家屋 番号 | 2613 番 200 の 1 | |
| | 種 類 | 居宅 | |
| | 構 造 | 木造瓦葺鉛メッキ鋼板葺 2 階建 | |
| | 床 面 積 | 1 階 | 98.94 平方メートル |
| | | 2 階 | 23.18 平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 8年 8月 4日

名古屋地方裁判所民事第2部

裁判所書記官 神宮司 智 仁

1 不動産の表示

【物件番号1～3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号3】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意



味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。

5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- | | | | |
|---|-------|----------------------|-------------|
| 1 | 所 在 | 小牧市大字本庄字郷浦 | |
| | 地 番 | 2613番200 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 233.82平方メートル | |
| 2 | 所 在 | 小牧市大字本庄字郷浦 | |
| | 地 番 | 2613番474 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 7.85平方メートル | |
| 3 | 所 在 | 小牧市大字本庄字郷浦 2613番地200 | |
| | 家屋 番号 | 2613番200の1 | |
| | 種 類 | 居宅 | |
| | 構 造 | 木造瓦葺鉛メッキ鋼板葺2階建 | |
| | 床 面 積 | 1階 | 98.94平方メートル |
| | | 2階 | 23.18平方メートル |



令和 8 年(ケ)第 129 号

令和 8 年 6 月 16 日受理

令和 8 年 7 月 10 日提出

現 況 調 査 報 告 書

名古屋地方裁判所

執行官 池 上 浩 美

物 件 目 録

- | | | | |
|---|-------|-----------------------------|-----------------|
| 1 | 所 在 | 小牧市大字本庄字郷浦 | |
| | 地 番 | 2 6 1 3 番 2 0 0 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 2 3 3. 8 2 平方メートル | |
| 2 | 所 在 | 小牧市大字本庄字郷浦 | |
| | 地 番 | 2 6 1 3 番 4 7 4 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 7. 8 5 平方メートル | |
| 3 | 所 在 | 小牧市大字本庄字郷浦 2 6 1 3 番地 2 0 0 | |
| | 家屋 番号 | 2 6 1 3 番 2 0 0 の 1 | |
| | 種 類 | 居宅 | |
| | 構 造 | 木造瓦葺鉛メッキ鋼板葺 2 階建 | |
| | 床 面 積 | 1 階 | 9 8. 9 4 平方メートル |
| | | 2 階 | 2 3. 1 8 平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	(住居表示未実施)		
土地	物件 1、2		
現況地目	☒ 宅地（物件 1、2） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物配置図(概略)(以下(配置図)という。)のとおり		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 A ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は、「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項			
建物	物件 3		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類： 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 A ☐ その他の者 上記の者が本建物を居宅(空き家)として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 平成 年（ ）第 号 保管開始日 平成 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 配置図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ B	1 物件1～3土地・建物の前所有者Cは私の父で、Dは私の母(Cの妻)、Aは私の兄(長男)です。 2 物件3建物は、両親(C、D)が住んでいましたが、2年程前から空き家の状態で、誰も住んでおらず、誰にも貸していません。 3 両親(C、D)が住んでいた頃、物件3建物内で犬や猫は飼っていませんでしたし、同建物内でたばこを吸う人間もいませんでした。 4 物件3建物は、市の上下水道を使用し、ガスは都市ガスでした。 5 物件3建物で事件・事故が起きたことはありません。 6 現在、物件3建物に雨漏りする箇所はないと思います。 7 物件3建物内の給湯器に繋がっている管は破損しており、修理していません。現在、水道は止めてあります。 8 物件2土地は隣地所有者から買わされたと聞いていますが、その事情はよく分かりません。境界に争いがあったのかもしれませんが、現在、物件1、2土地は、境界の争いはありません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

執行官の意見

- 1 物件1～3土地・建物の状況は、別紙配置図、建物間取図(概略)及び添付写真のとおりである。
- 2 物件1、2土地は一体土地として利用されており、同土地上に物件3建物が建てられている。同土地のその余の敷地部分は庭地と駐車場で、カーポートが設置されている。なお、同土地のその余の敷地部分には雑草が生い茂っている。
- 3 物件3建物の占有状況について、Aに通知書を送付したが、同人から連絡はなく、調査期日当日も不在であったので、Aから事情を聴取することはできなかったが、関係人の陳述及び現認した状況から2枚目に記載のとおり認定した。なお、同建物について第三者が占有する徴表は認められなかった。
- 4 物件3建物の状況については、同建物は築約54年の木造建物であるから、経年に相当する劣化が認められる。目立った劣化等の箇所としては
 - (1) 1階の廊下、キッチンの床については歩くと沈み込む箇所が多く認められた。
 - (2) 1階縁側に雨漏り跡が認められた。
 - (3) 垂鉛メッキ鋼板の屋根材やカーポートの鉄骨に錆びが多く認められる。
 - (4) 門扉の部材が崩れている。以上の状況から、物件3建物の状態は良好とは言えない。
- 5 物件3建物1階和室1には仏壇が供えられている。
- 6 物件1、2土地の境界については、同各土地に関する地積測量図が存在すること、別紙配置図中の赤丸付近に境界標が埋設されていること、関係人の陳述及び現認した状況から、特に争いは生じていないものと思料するが、同各土地上の庭木等が西側道路及び南側隣地に越境している。なお、同土地の東側に接する水路との間にある間知ブロック擁壁については、一般的に水路側に擁壁は設置しないこと及び現地において概測したところ、間知ブロック擁壁は物件1、2土地に含まれているものと考えられるから、宅盤の約4メートル下の水路沿いが境界であるものと思料する。
- 7 他に占有権原を推認し得る資料は見当たらなかった。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
8年6月15日(月) 10:00-10:10	名古屋法務局	土地・建物登記事項証明書申請
8年6月17日(水) 10:00-10:10	名古屋法務局 当庁	公図、地積測量図、建物図面申請 Aに通知書送付
8年6月18日(木) 9:10-9:20	目的物件所在地	目的物件確認、物件1、2土地調査、外観写真撮影
8年6月24日(水)	当庁	Bに通知書送付
8年7月3日(金) 10:50-11:40	目的物件所在地	目的物件確認、室内外立入調査、写真撮影、 Bから事情聴取(評価人同行)

(特記事項)

☐ 令和 年 月 日
 物件 建物は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

■ 令和8年7月3日
 物件3建物は不在で施錠されていたので、立会人を立ち会わせ、Bが持参した鍵で解錠し、同建物内に立ち入った。

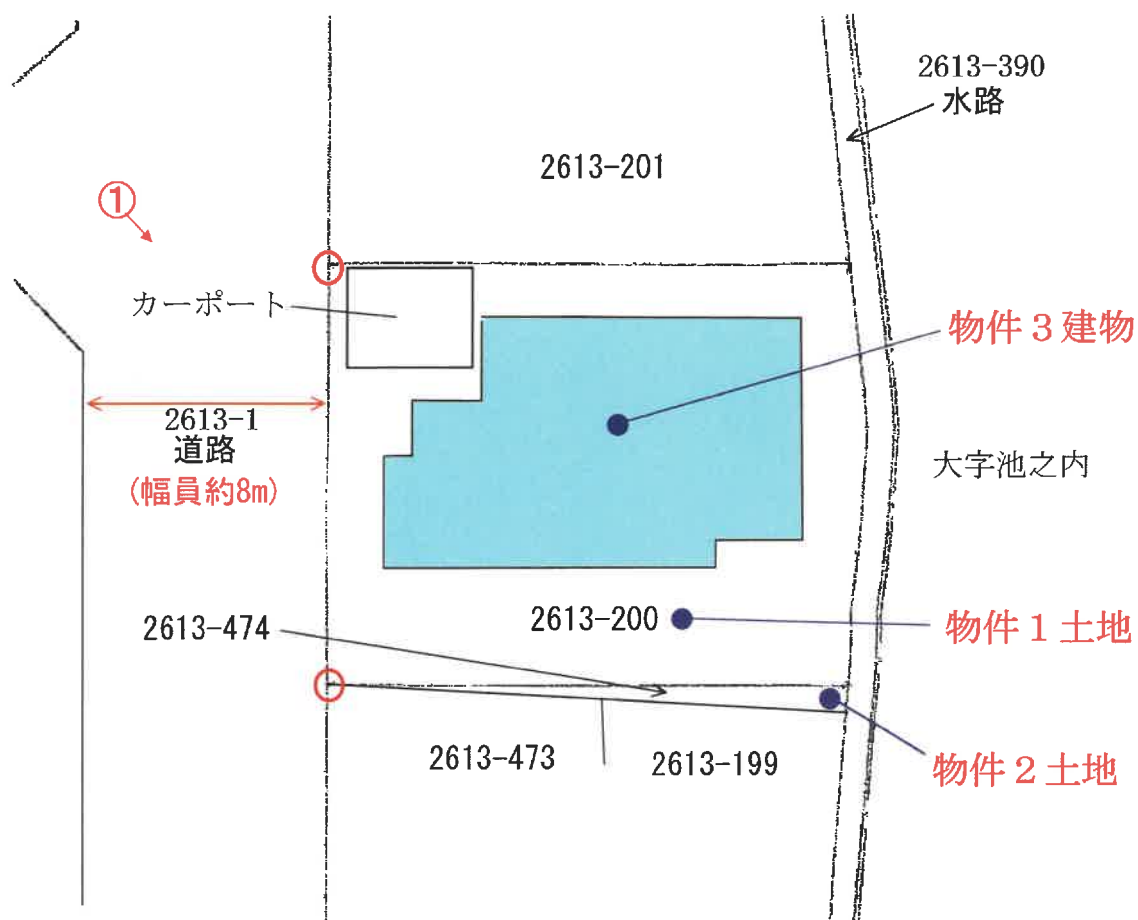
☐ 令和 年 月 日
 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐

☐

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

土地建物配置図 (概略)

1. 下記メートルは概測である。
2. 境界も隣地立会によるものではなく、公図上の位置等から推定したものであり、境界を保証するものではない。



S = 約 1 / 250

※ ○は境界標を示す。

(6 枚目)

令和8年(ケ)第129号
←○は写真撮影位置・方向

写真 1

カーポート

物件 3 建物



物件 1, 2 土地

道路(2613-1)

写真 2

物件 3 建物

1 階室内(和室 1)



写真3

物件3 建物

1階室内(洋室1)



写真4

物件3 建物

1階室内(浴室)



写真5

物件3 建物

1階室内(DK)



写真6

物件3 建物

1階室内(DK)



写真 7

物件 3 建物

2階室内(和室3)



写真 8

物件 3 建物

2階室内(和室4)



令和8年（ケ）第129号
令和8年6月22日受理
令和8年7月3日現地調査
令和8年8月3日評価

名古屋地方裁判所民事第二部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

青 山 晃 印

第1 評価額

一 括 価 格			
金		7,040,000	円
内 訳 価 格			
物件1(土地)	金	3,250,000	円
物件2(土地)	金	110,000	円
物件3(建物)	金	3,680,000	円

- 1 一括価格は、物件1, 2, 3の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1, 2の内訳価格は物件3のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件3の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、競売の目的物の種類又は品質に関する不適合については担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 等 地 番 地 目 地 積	小牧市大字本庄字郷浦 2613番200 宅地 233.82㎡	同左
2	所 在 等 地 番 地 目 地 積	小牧市大字本庄字郷浦 2613番474 宅地 7.85㎡	同左
3	所 在 等 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積	小牧市大字本庄字郷浦 2613番地200 2613番200の1 居宅 木造瓦葺鉛メッキ鋼板葺2階建 1階 98.94㎡ 2階 23.18㎡	同左
番号	特 記 事 項		
	なし		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1, 2）

位 置 ・ 交 通	名鉄小牧線「味岡」駅の東方 道路距離約2.6km こまき巡回バスこまくる「本庄東」停留所の北方 道路距離約190m (附属資料「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	一般住宅が建ち並ぶ丘陵地の区画整然とした住宅地域	
主な公法上の 規制等(道路 の幅員等の個 別的な規制を 考慮しない一 般的な規制)	都 市 計 画 区 分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 そ の 他 規 制	市街化区域 第1種中高層住居専用地域 60% 200% — 特定都市河川新川流域、宅地造成等工事規制区域、 都市機能誘導区域外、居住誘導区域内、砂防指定地
画 地 条 件	地 積 241.67㎡ 間 口 約13.6m、奥 行 約17.2m 形 状 概ね整形	
接 面 道 路 の 状 況	西側現況幅員約8m舗装市道(本庄台1号線)に概ね等高に接面。 上記道路は市道認定されており、建築基準法第42条第1項道路である。	
土 地 の 利 用 状 況 等	物件3の敷地として利用されている。	
供給処理施設 (敷地内引込 の有無を基準 としている)	上 水 道 あり ガ ス 配 管 あり 下 水 道 あり	
土 壌 汚 染 の 可 能 性 の 調 査	昭和34年、45年、55年頃の住宅地図及び登記事項証明書等によると、従前は未利用地及び住宅等の敷地で、昭和47年7月本件建物の敷地となり現在に至ると推定されるが確定できない。尾張県民事務所環境保全課に確認したところ、有害物質使用特定施設の届出はないが、汚染の原因となる物質を含むかは不明である。	
特 記 事 項	○ 隣接不動産の状況は、東側に水路及び林地、西側道路を介して一般住宅、南側及び北側に一般住宅である。 ○ 小牧市建設課によると、本件土地は条例適用のがけか把握していないが、高低差2m以上の場合、愛知県建築基準条例第8条（がけ条例）の適用を受ける可能性がある。 ○ 東側の境界は、現地での概測から間知ブロック擁壁を含み、宅盤の約4m下の水路沿いにあると思料される。小牧市役所河川課によると、一般的には水路側に擁壁を設置しないが、擁壁が本件土地側か水路側に含まれるかは不明とのこと。 ○ 擁壁は古く北側隣地の擁壁と一体化しており、住宅団地造成時の擁壁と思料される。 ○ 中部経済産業局資源燃料課によると、本件土地周辺は以前鉱業権が設定されていた（登録番号「愛知県採掘権登録第120号」）。昭和39年に権利は取消され、地下の採掘等の状況は不明である。 ○ 庭木の枝等が西側道路及び南側隣地に越境している。	

2 建物の概況及び利用状況（物件3）

区 分	主である建物
建築時期及び 経済的残存耐用 年数	建築年月日（登記記載） 昭和47年7月21日新築 昭和61年5月28日増築 経 過 年 数 約54年 経済的残存耐用年数 約0年
仕 様	構 造 木造 屋 根 瓦亜鉛メッキ鋼板葺 外 壁 樹脂吹付、亜鉛メッキ鋼板外 内 壁 ビニールクロス貼、合板外 天 井 竿縁、ビニールクロス貼外 床 畳、フローリング外 設 備 水道、下水、ガス そ の 他 -
床面積（現況）	登記事項証明書記載面積と同じく、1階98.94㎡、2階23.18㎡、合計122.12㎡である。
現況用途等	現況用途 居宅 間 取 り 6DK （附属資料No.7 建物間取図（概略）のとおり）
品 等	普通
保守管理の状態	普通
建物の利用状況	現況調査報告書記載のとおり
特 記 事 項	○ 使用、経年相応の状態であり物理的及び機能的に古さが否めない。目に付いた劣化等は以下の通り。 ・ 1階の廊下やキッチン等で、床が沈み込む箇所が多く見られた。 ・ 1階縁側で雨漏り跡が見られた。 ・ 亜鉛メッキ鋼板の屋根材及びカーポートの鉄骨に錆が目立つ。 ・ 門扉が劣化し、部材が崩れている部分がある。 ○ 間取りの特徴は以下のとおりである。 ・ 和室1に仏壇がある。 ・ 関係人によると、給湯器に繋がった管が破損しているとのこと。 ○ 建築年から推測すると、アスベスト含有建材等の使用に留意が必要である。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1, 2）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付 減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	71,200	0.62	233.82	0.90	9,290,000
2	71,200	0.62	7.85	0.90	310,000
合計			241.67		9,600,000

計算結果の数値は万円未満を四捨五入する端数処理を行った。（以下同じ）

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示 小牧-6

$$\begin{array}{ccccccc} \text{公示価格} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 74,000 \text{ 円/㎡} \times & 100 / 100 \times & 100 / 106 \times & 100 / 98 & = & 71,200 \text{ 円/㎡} \\ & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)} \end{array}$$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：方位(南) 1.06

◇地域格差：街路条件、交通接近条件、環境条件格差等を考慮して判定。

イ 個別格差：方位(西) 1.00 × 雑木等あり 0.95 ×

東側水路との高低差(古い擁壁が含まれる可能性)及びがけ条例適用の可能性 0.65 = 0.62

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：地上建物の存在による減価率を10%と評価した。

(2) 建物価格（物件3）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床 面積(㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ
3	182,000	122.12	0.02	440,000

ウ 現価率：建物は経済的耐用年数が満了しているため、現状等を考慮し現価率を2%と判定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	9,290,000	0.50	法定地上権	4,650,000
2	310,000	0.50	法定地上権	160,000
合 計				4,810,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を50%と査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格の判定

番号	基礎となる 価格 (円) ア	土地利用権等 価格の控除 及び加算 (円) イ	占有減 価修正 (円) ウ	市場 性修 正 エ	競売 市場 修正 オ	評 価 額 (円) $\{(ア \pm イ) - ウ\} \times エ \times オ$
1	9,290,000	－ 4,650,000		1.00	0.70	3,250,000
2	310,000	－ 160,000		1.00	0.70	110,000
3	440,000	＋ 4,810,000	0	1.00	0.70	3,680,000
一括価格 (合計)						7,040,000

ウ 占有減価修正：必要なし。

エ 市場性修正：必要なし。

オ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

地価公示価格(小牧-6)

所 在：小牧市大字本庄字郷浦2613番265
価 格：74,000円／m²
位 置：名鉄小牧線「味岡」駅の東方 道路距離約2.6km
価 格 時 点：令和8年1月1日
地 積：168m²
供給処理施設：ガス ・ 水道 ・ 下水
接 面 街 路：南 6.1m 市道
用途指定等：第1種中高層住居専用地域（建ぺい率60%，容積率200%）
地域の概要：中小規模一般住宅が建ち並ぶ丘陵地の住宅地域

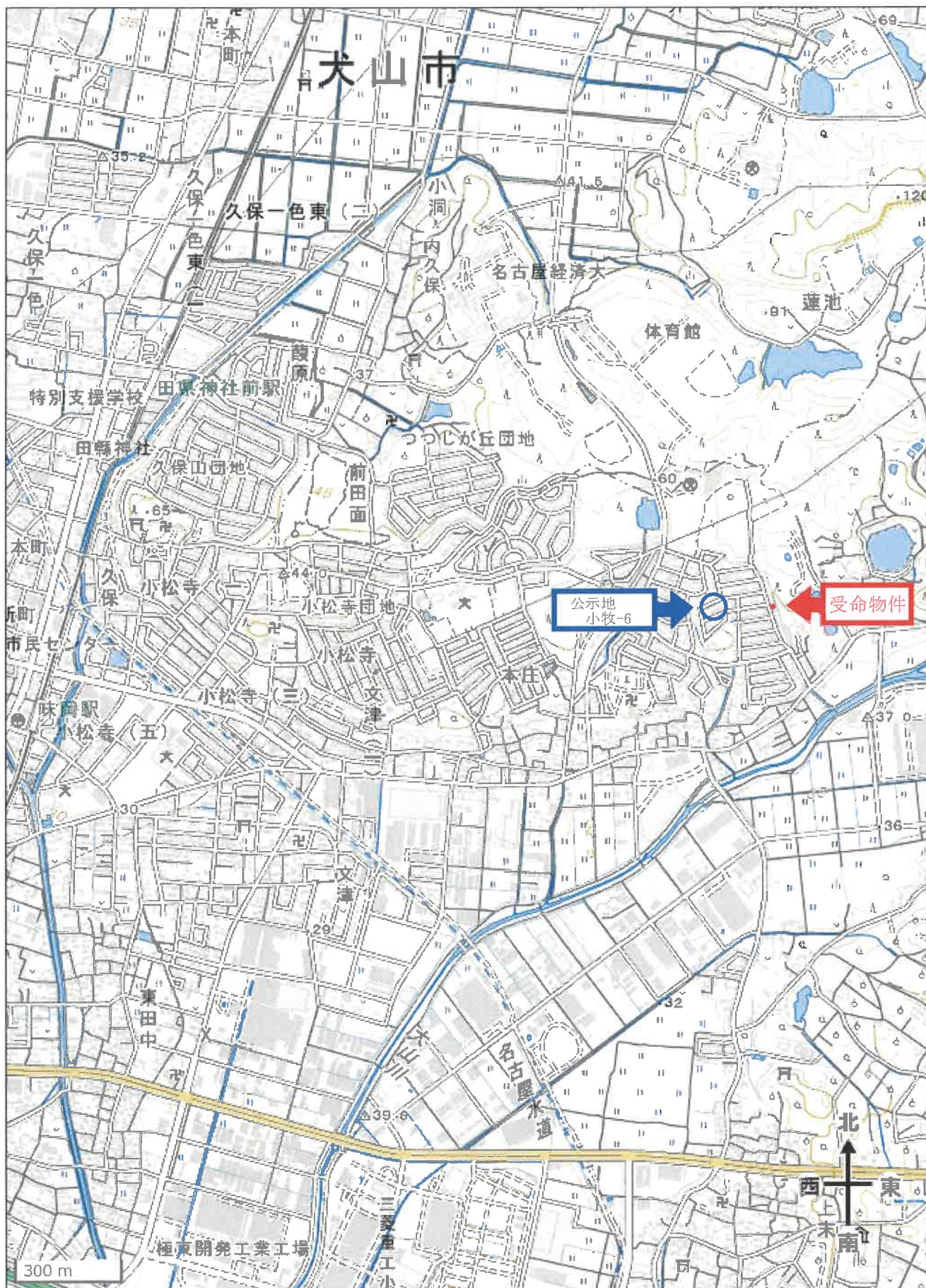
第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 付近案内図
- 3 公図写
- 4 地積測量図写
- 5 土地建物配置図（概略）
- 6 各階平面図写
- 7 建物間取図（概略）
- 8 現況写真

以 上

位置図

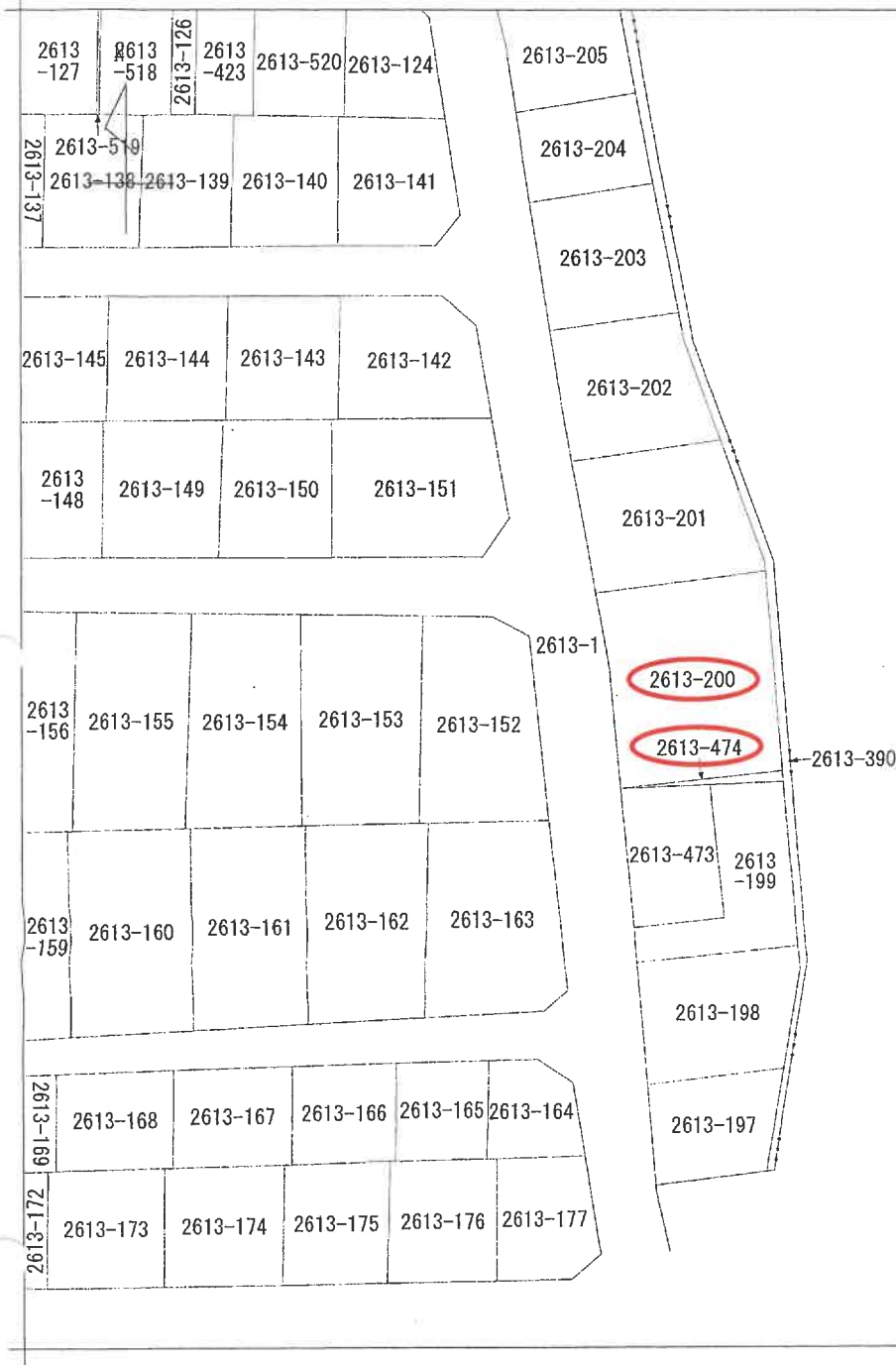
地理院地図
GSI Maps



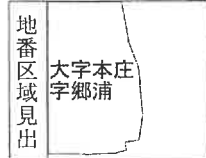
付近案内図



公図写



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請 求 部	所 在	小牧市大字本庄字郷浦				地 番	2613番200			
出 力 縮	1/600	精 度 分		座標系 番号又は 記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作 成 年 月 日	明治21年				備 付 年 月 日 (原図)			補 記 事 項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年3月31日
名古屋法務局春日井支局
登記官

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和8年6月22日 名古屋法務局春日井支局 登記官

地積測量図写

新 按 図 測 量 地 積

1554845

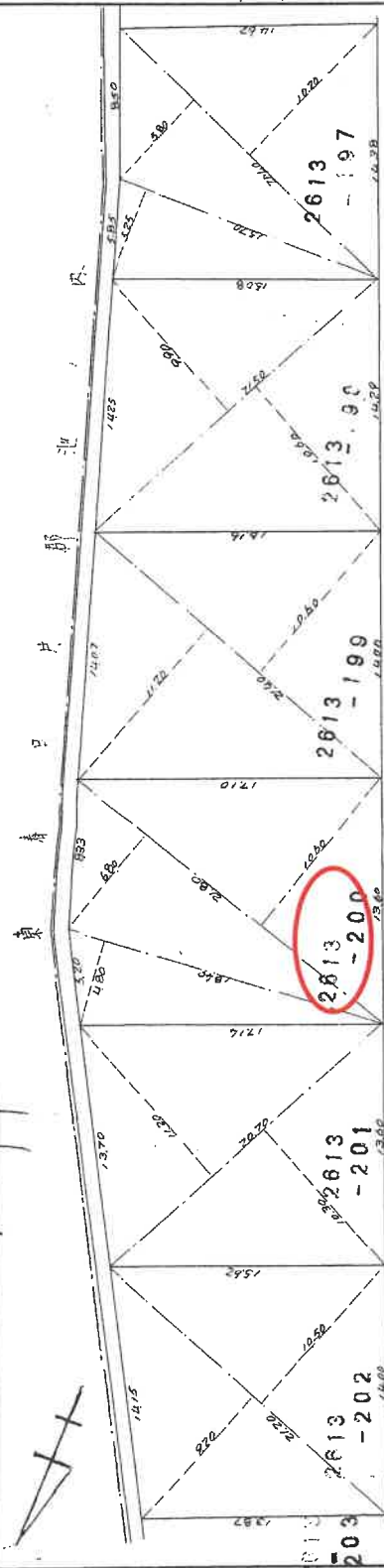
地 番 813-197 ~ 813-202

土地の所在 牧市大字本庄邸浦

13

S45.12.15

昭和45年12月15日 作製者



2613-1

面積計算

$$2613-197 \quad 1570 \times 525 \times \frac{1}{2} = 412125$$

$$2613-197 \quad 2640 (580 + 920) \frac{1}{2} = 16320$$

$$2044125$$

$$\sim 198 \quad 2150 (960 + 990) \frac{1}{2} = 220375$$

$$\sim 199 \quad 2140 (1120 + 1060) \frac{1}{2} = 23326$$

$$\sim 200 \quad 1840 \times 480 \times \frac{1}{2} = 4416$$

$$2180 (580 + 960) \frac{1}{2} = 18966$$

$$23382$$

$$\sim 201 \quad 2070 (930 + 1120) \frac{1}{2} = 222525$$

面積計算

$$\sim 202 \quad 2120 (970 + 950) \frac{1}{2} = 20082$$

縮尺 1/300

(名古屋土地家屋調査士会 用紙)

図面ノート

1554845

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。

※A4判に縮小

1554979

積測量図

地番 2613-199 2613-473 2613-474
2613-199 2613-473 2613-474
2613-199 2613-473 2613-474

土地の所在 小牧市大字本庄字郷浦

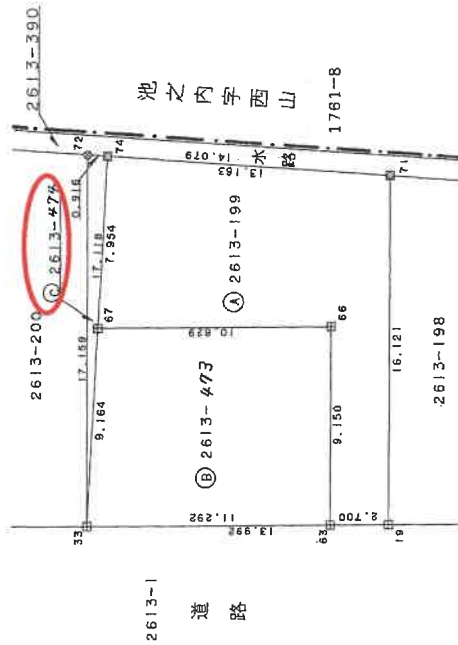
直角座標法求積表

地番	NO	Xn	Yn	Xn - (Yn+1 - Yn-1)	距離
2613-199	19	99.399	106.903	1571.734581	16.121
	71	97.889	122.953	1778.643356	13.163
	74	110.879	125.073	-637.725422	7.954
	67	112.019	117.201	-988.368723	10.829
	66	101.231	116.250	-1018.475456	9.150
	63	102.088	107.141	-954.185551	2.700
合計				-248.395215	
地積				124.19	m ²

地番	NO	Xn	Yn	Xn - (Yn+1 - Yn-1)	距離
2613-473	67	112.019	117.201	-909.293402	9.164
	33	113.337	108.133	-1140.268453	11.292
	63	102.088	107.141	828.686398	9.150
	66	101.231	116.250	1018.475456	10.829
合計				-202.400001	
地積				101.20	m ²

地番	NO	Xn	Yn	Xn - (Yn+1 - Yn-1)	距離
2613-474	33	113.337	108.133	-908.901650	9.164
	67	112.019	117.201	1897.680125	7.954
	74	110.879	125.073	889.194553	0.916
	72	111.783	125.221	-1893.693520	17.159
合計				-15.716482	
地積				7.85	m ²

合計 233.2558390



境界点	境界線の種別
①	コンクリート杭
②	鉄線
③	金
④	鉄

(会員専用)

作製者

平成13年1月9日作製)

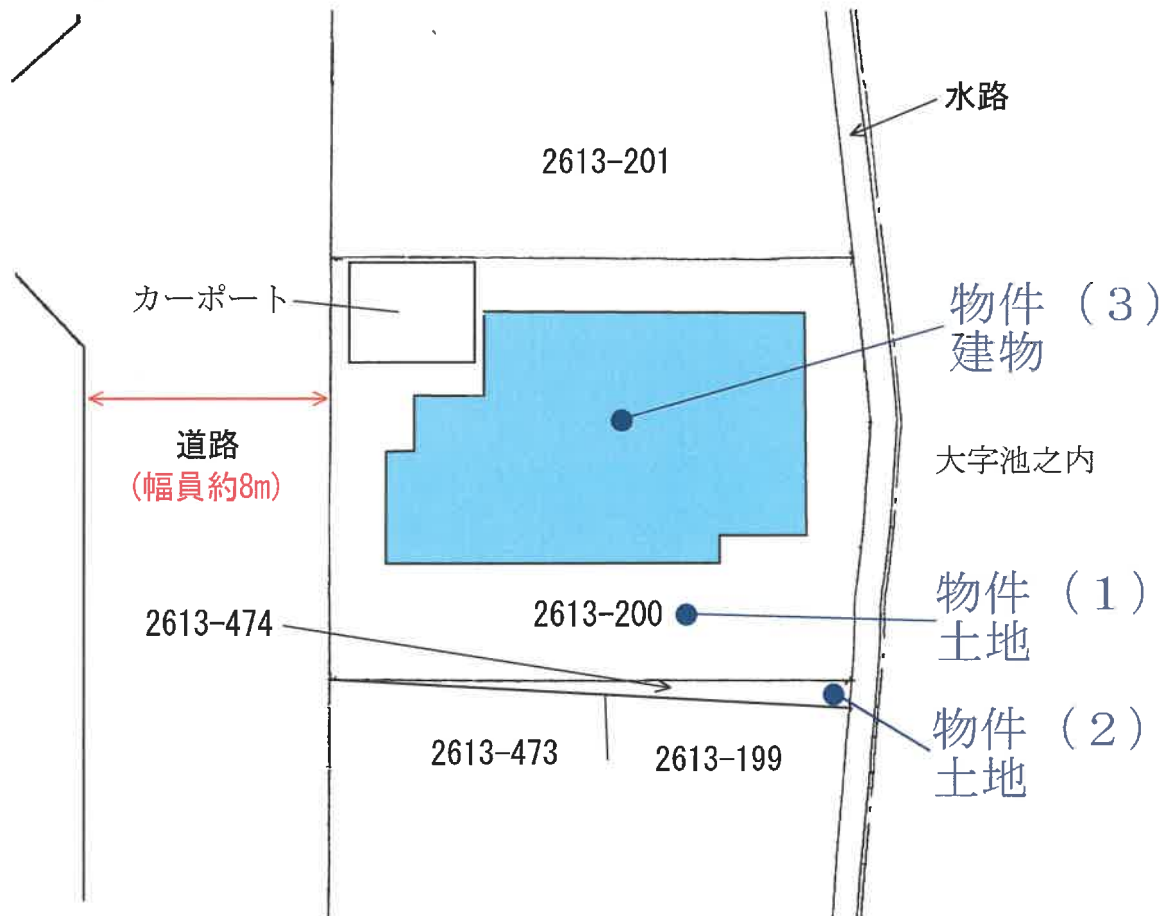
申請人

縮尺

1/250

土地建物配置図 (概略)

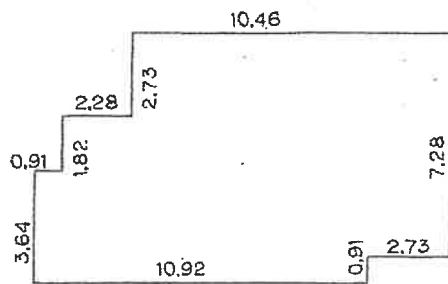
1. 下記メートルは概測である。
2. 境界も隣地立会によるものではなく、公図上の位置等から推定したものであり、境界を保証するものではない。



S=約1/250

各階平面図写

各 階 平 面 図



1 階

$$3.64 \times 0.91 = 3.3124$$

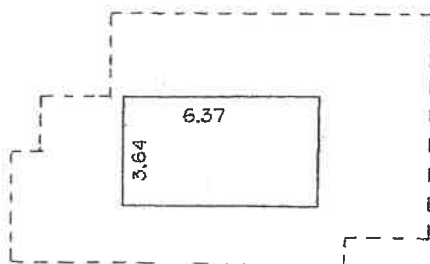
$$5.46 \times 2.28 = 12.4488$$

$$8.19 \times 7.73 = 63.3087$$

$$7.28 \times 2.73 = 19.8744$$

合 計 98.9443

床面積 98.94 m²

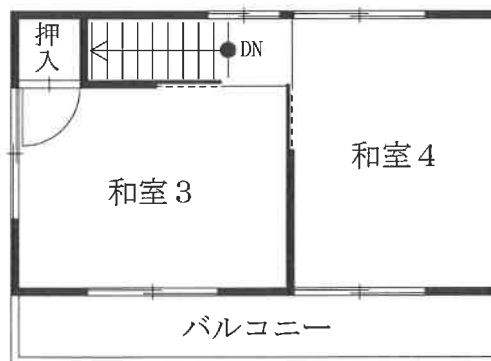


2 階

$$3.64 \times 6.37 = 23.1868$$

床面積 23.18 m²

建物間取図 (概略)



現況写真

受命物件

